



## <第28回学会 保健福祉学会長賞>

氏名：秋山 倅慧 様

現所属：美作保健所勝英支所地域保健課 地域保健班

職種：保健師

発表演題：「COVID-19 の高齢者入所施設クラスターにおける施設内療養者の重症化に与える要因の検討」



### ☆発表のきっかけ

コロナの第6波頃から個人的にコロナに関する分析を開始し、第7波頃からゲノム解析結果やクラスターの分析を始め、結果を所内で共有していました。第8波のときに同期の保健師の力を借りて今回発表した内容の原型となる分析を行い、当時の直属上司や所長に報告しました。こうした背景の中、周囲の理解や上司の後押しもあり発表の機会をいただきました。私の思いとしては、入庁してからずっと頑張ってきた経験をどうにか伝えたい、どこかに残したいという気持ちがありました。

### ☆受賞した時の気持ち

チームとしての頑張りが認められて嬉しかったです。また、令和2年度からのコロナ対応のひとつの区切りのように感じ、ほっとした気持ちもありました。

### ☆受賞後の変化

分析のブラッシュアップの中でデータの扱い方や分析的な視点が身についたように思います。現在は感染症とは異なる業務を担当していますが、分析的な視点を求められることも多く、経験が活かされていると感じています。学会発表までの一連の経験が、現在の業務の中でも自信に繋がっています。

### ☆保健、医療、福祉関係の職場で働く仲間へ一言

現場で努力してきたこと、辛かったこと、うまくいったことなど、一生懸命取り組んだことの中に、「なぜ？」という疑問が生まれるのだと思います。小さな疑問を受け止めてくれる人がいて、後押ししてくれる方々がいることが、大きな流れに繋がっていくことを今回の経験で実感しました。私にとって今回の学会参加はとても楽しく貴重な経験となりました。ありがとうございました。